

アンナマリア カンパニーニ

経歴概要

アンナマリア カンパニーニは、現在ミラノにあるピ
ッコカ大学の教授を務めています。この役職を 2007



年から担ってきています。博士号は、『社会学とソーシャルワーク：対話の歴史』
という題目の研究を基に、トリエステ大学より取得しました。2009 年に、国際
的なソーシャルワーク教育において果たしてきたリーダーシップに対して、シカ
ゴのロヨラ大学より名誉博士号を付与されました。

カンパニーニ博士は、学術的なキャリアを 1975 年に始めました。イタリア、ヨ
ーロッパ、そして国際的なソーシャルワーク教育に強い関心をもち、参加してき
ました。2002 年から 2008 年まで、ヨーロッパ・ソーシャルワーク・テマテ
ィック・ネットワークのコーディネーターを務め、2003 年 5 月にヨーロッパ・
ソーシャルワーク学校連盟の執行委員会の委員に選ばれ、2007 年から 2011 年
まで会長を務めました。

ソーシャルワーク教育におけるリーダー的な諸役割に加え、ヨーロッパの多くの
国々で教えたことがあり、ヨーロッパの ESCO プロジェクトの一環としてポル
トガルで国際審査員と共にカリキュラム開発専門家としても活動してきました。

英語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語という複数の言語による多くの出版物を執筆しており、多数の国際的なソーシャルワーク学術誌において編集委員会の委員を担当しています。

IASSW ビジョン声明

会長として IASSW のために努めることができれば光栄です。この組織は、グローバルな規模でソーシャルワーク教育を強化し、世界中でソーシャルワーク課程・教員・学生の強くて協働的な代弁者になる重大な役割をもっています。

教育の変化をもとらす機能の重要性を過剰評価できません。グローバルアジェンダと国連及び我々自身の指針及び基準を通じて表明されている「社会変革」に向けた各種資料が具体化してきた責務を遂行して続けていき、将来のリーダーを育成しようとしているのは、正しくソーシャルワーク教育課程なのです。我々のソーシャルワーク教育がこのような取り組みにおいて重大な役割を果たさなければなりません。

IASSW は、様々な地域連盟を通じて、また現在の連携組織と将来的に連携する組織と共同で、高い専門職の養成のみでなく、社会正義と人権を推進するための政治的な関わりに取り組む中でリーダー的な立場にいなければなりません。

私自身は、ヨーロッパ・ソーシャルワーク学校連盟会長等として、多様性という価値の重要性、ヨーロッパ内と IASSW が認めている世界各地の間に協力の場を設けること、そしてグローバルな問題と組織的な課題に対する革新的で包括的な解決策を推進することの必要性を指摘してきました。

将来の IASSW に対する私のビジョンは、現在の IFSW、ICSW、国連、そして各地域ソーシャルワーク連盟のような連携組織との関係を強化していくことです。これに加え、我々の価値と、教育、グローバルな持続可能性、社会正義、人権に対する我々の使命感を共有する新しい連携相手を探し、協力しなければなりません。多くの組織的な課題に対応できる革新的な解決策を生み出す組織 (IASSW) をもたなければなりません。これは、連携関係の強化、組織のより大きい資金的な持続可能性の探究、現在のみでなく将来に向けたリーダーシップの育成によって達成できます。

私の信念によれば、国際的な組織として我が連盟の各地域における特有のストレスと課題を理解し、各地域が教育と研究において特有の実態を発展し続けることを容認すると同時に、グローバルな規模で共同的な努力を強化するために相互的な交流から得ることがたくさんあります。

この重要な選挙にあたり、皆さんの支援をお願いします。各種課題に立ち向かう覚悟ができており、IASSW の更なる発展のための環境整備にあたり、共通の課題への解決策を見つけ出すように皆さんと一緒に取り組む準備が整っています。